

## 令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑦特に配慮を必要とする子どもの理解

- ◆ 放課後児童クラブにおける児童虐待防止の発見段階では、子どものあざや傷、行動、服装、におい、食事や保護者の様子などに関する「気づき」が重要です。放課後児童支援員の早期の発見と切れ目ない支援を提供できる体制が求められると思いますので、多様な関係者が連携して、貧困の状態を次世代に連鎖しないようにすることが社会的に重大であると思いました。
- ◆ 今回の研修を通じ、子どもたちへの気配りと目配りがいかに重要かを深く理解しました。安全対策と緊急時対応は放課後児童支援員の最優先事項です。施設内外の危険を常に監視し、予防策を実行することで、火災や怪我・事故のリスクを最小限に抑え、緊急時には冷静な判断と迅速な行動が必要です。子どもたちの安全を最優先に、救急対応と避難訓練を徹底し、スタッフとの連携を強化します。放課後児童支援員として、安全な環境の維持と緊急時の素早い対応が、子どもたちの安全を確保する大切な役割であることを理解することができました。
- ◆ 虐待とは重い言葉であり、私自身関わったことはありませんが、テレビで母親の交際相手等による身体的虐待で子どもが亡くなったというニュースを耳にしたことがあります。幸い、放課後児童クラブ内で虐待が疑われるような場面は見受けられませんが、年々ひとり親家庭が増えているということで、その立場におかれている子どもには特に目を配るよう心がけています。子どもに関する情報を支援員で情報共有し、健全な成長の手助けとなる適切な支援を続けていきたいです。
- ◆ 児童虐待は子どもの心身の成長、人格の形成に重大な影響をもたらし、次の世代に引き継がれる恐れがあります。放課後児童クラブの対応は、発見→調査→介入→支援といった流れになるかと思います。秋田県の貧困世帯はひとり親が多く、特に母子家庭が多いです。貧困は子どもの学力や自制心など認知能力に影響します。県では、教育支援など行っているということで、貧困の連鎖を断ち切るため、早期の発見と切れ目ない支援・支援者間の連携が重要になると学びました。
- ◆ 児童虐待は子どもに対する最も重大な権利侵害であり、虐待を受けた児童ではなく、虐待を受けたと思われる児童を発見した時点で通告しなければならないということを知りました。児童虐待の件数の伸び率は少なくなっているにもかかわらず、毎年増加し続けているという話を聞いて驚きました。また、児童虐待と貧困は密接に関わっていると思いました。